

国際禅学研究所特別講演会

夢窓国師の生涯

講師

余新星

(花園大学文学部准教授)



2024年3月26日(火)
15時～16時30分

オンライン (Zoom) による生配信

【参加費無料】

※参加希望の方は事前にメールにて
お申し込みください

鎌倉期末から室町期にかけて大いに活躍し、後醍醐天皇などから尊崇を受け、七度も国師号を授与されたことから「七朝帝師」とも尊称された夢窓疎石(1275～1351)。禅宗のみならず仏教の教理に広く精通し、漢詩文や和歌にも優れた才覚を発揮して、足利直義との含蓄に富む問答がまとめられた『夢中間答集』は、現代でもなお、多くの読者を集めています。

とはいえ、夢窓についてはこれまで明らかでないところも少なくなく、一層の研究が求められる存在でもあります。夢窓研究の最新の成果について、御専門としてこられた先生に、詳細をお話し頂きます。